

令和3年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立春日小学校		作成者	職名	主幹教諭
電話番号	0956-22-5362			氏名	日数谷 優子
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 「不祥事防止と法令遵守」 <input type="checkbox"/> 「体罰の禁止」 <input type="checkbox"/> 「ノー残業デー」の徹底 <input type="checkbox"/> 「セクハラ・パワハラ、わいせつ行為の防止」 <input type="checkbox"/> 「情報セキュリティ対策の徹底」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに「教職員の服務規律の確保等について」（3教義第18号）をもとに、管理職から指導を行い、全職員に周知・確認し意識の向上を図った。 ・自己目標管理シートに「体罰によらない指導」について自己目標を設定することで、教職員一人一人の体罰根絶への意識を高めた。 ・労働安全委員会で働きやすい職場づくりや「ノー残業デー」の意義について共通理解を図り、働き方改革への意識を高めたことで、徐々に計画的に業務遂行ができていった。 ・わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシートを実施し、自己の状態を振り返る機会とした。 ・コンプライアンスハンドブック「あなたとあなたの大切な人を守るために」を活用し、本県の状況、被害者の苦悩、責任問題等を全職員で確認した。本校における対策として、ワークショップ形式で、話し合い、発表しあうことで、当事者意識を高めることができた。 ・本校の情報セキュリティポリシーをもとに、個人情報やUSBメモリ等の取扱いについて共通理解を図ることができた。 					
7月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 「情報セキュリティ対策の徹底」 <input type="checkbox"/> 「体罰の禁止」 <input type="checkbox"/> 「セクハラ・パワハラ、わいせつ行為の防止」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・通知、コンプライアンス通信、新聞記事等、その都度印刷・配付し、意識の向上と周知徹底を図った。 ・個人情報の取扱いについて、USBメモリ等の管理は勿論のこと、職員室の机上についても個人情報データが見られないようにすることなど、具体的に指導を行った。 ・学校評議員などの外部からのアドバイスに積極的に耳を傾け、対応策に取り入れるようにした。 ・連絡会の時間に「情報セキュリティ対策の徹底」「体罰の禁止」「セクハラ・パワハラ」「わいせつ行為の防止」について、自分が気を付けていることや不祥事防止のための実践を発表しあうことで、自分のこととして考え、できることを生活の中に取り入れていこうとすることができた。 					
12月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 「飲酒運転の根絶」 <input type="checkbox"/> 「公金等の不正処理防止」 <input type="checkbox"/> 「情報セキュリティ対策の徹底」			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・不適切指導防止自己温床度チェック票や体罰根絶に向けたチェックリストを各自で記入し、自己評価を行い、自らを振り返る場とすることができた。 ・不適切指導の事案について、小グループで問題点、抵触する法令、対応例など話し合う 					

ことで、チーム春日としての意識向上につながった。

- ・「私の体罰根絶宣言」を各自で記入し、体罰や不適切指導を絶対にしない、させない、見過ごさない行動を実践する決意をもつことができた。
- ・連絡会の時間に、「飲酒運転の根絶」「公金等の不正処理防止」「情報セキュリティ対策の徹底」について、自分が気を付けていることや実践を発表しあうことで、できることを生活の中に取り入れていこうとすることができた。
- ・情報セキュリティーポリシーについて再確認し、個人情報や情報を持ち出しの際の手続き等についての共通理解を図ることができた。
- ・飲酒する場合は会場に車で行かない。職場の酒席の場に、車で来たときはカギを管理職に預けるなど確認することができた。
- ・各種会計簿は、隣接学年の複数人による監査を実施し、公金処理に万全を期すことができた。

2 服務規律委員会

委員会名 春日小服務規律委員会

構成員 所属内委員（12名）、外部委員（3名 役職等：学校評議員）

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	オ	カ	キ	ケ				
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない
---------	-----------	------------	-------------

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。 	